

會計長

(高)

會計經理ノ部

命令達出ノ報告ノ大要

發令時	夜、日時	命令達出ノ報告事項
三月二十三日 一七三〇	三月二十五日 一三〇〇	三月二十日現在買入臨時賞與支給ノ件
特務隊長	緑川司令	
		電 無 列

(一) 經費出納ノ狀況

此方面ノ狀況上又が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

(二) 物品受拂ノ狀況

(1) 被服

在庫枯渴シ機能停止ノ狀態ニ在リ

海

軍

糧食

(1) 本月中並島所在各隊ノ糧食給與量在

前月^(前月)より主食米^(主食米)一三〇丸、副食一割八分以内

(^二二) 一割ヲ米^(米)一〇丸ニ換算^(換算)續^(續)食^(食)ス^(ス)ニ處

十五ヨリ主食米^(主食米)一五〇丸ニ増額ス 下旬入り離島ヨリ

送付セラル、糧食増加スルニ伴ヒ屢々増給ヲ行ヒ約九〇〇カリ

給與ヲ爲^(爲)得^(得)ル日ヲメ^(メ)ン

(2) 在庫高 (六月一日、十五日現在)

主食品 九二日・一〇日 副食品 六九日・六七

(註) 離島糧食開券隊ニハ不給

(3) 本月中並島ニ依^(依)ル被^(被)害^(害)十^(十)シ

海軍

(1) 需品

在庫枯渇ニ機能停止ノ状態ニ在リ

(4) 糧食現地自給量

糧食現地自給ニ係ル本月中並業高ハ別表ノ通

(2) 漢粉班及糧食總付点数制 (十九年九月分本欄参照) 基礎調

ル自給量左ノ通

生魚肉

九四〇ト

瓜類及食用雜草 (莧トドモトシモニハ等) トハルハト

(1) 離島ハ各島共哨戒隊其他ノ謀界時爆雷ヲ受クルコト度重ナリ

海軍

三三三

3

氣候好転し且

（五七三）

(六) 其ノ被害甚シトセサルモ、主要食糧ノ一タルパンノ味ノ成熟期到レル爲、現地自然糧食ハ前月ニ較ベ増加セリ。加之、本島ハ七月末以來被爆ナク且氣候ハ再好転セルニ因リ農作物ノ收穫順調ナレリヲ以テ、従来ノ給與悪化ノ勢ハ本月十五日ヲ以テ転機ヲ執リ以テ、栄養状態ハ改善セラレソフアリ。テ其ノ結果ハ死亡率ノ顯著ナル低減トシテ見ハレタリ。

(六) 其他
本月中ノ糧食給與状況及死亡率

六月一日現在	一三六七
當面現在總員數	
死亡率千分比	八九%
給與糧食量	七〇八五〇

(五) 炊炊所ノ設備

先月ノ被爆ニ依リ豫備炊炊所一棟ヲ失ヒ現在使用中ノ假設炊

炊所三棟ノ他ハ予備トシテセメント假製電五台アル毎々ニシテ、予備炊炊所毎ニドラム缶ニテ假製ノ予備電ヲ製造セリ

別表 昭和二十年上期南洋物資蒐集成績表													
品名	種	計	
椰子	実	1050	2060	1600	1500			4470	2900			20008	
燃料	椰子			500				10000	2500			16000	
乾燥	椰子	1050			150				80			1280	
	餅	2000			2200							5000	
乾	魚	11000	16200	1600	2300	5700		6000		20200		166000	
干	...	11908			440	102			80			12530	
	...	2002000			114000	41000	11000		208000			2400000	
干	...											129	
	...											014	
塩	魚	5000	20000			13000	7000	7700	4000	72000		217000	
	...	40	60		120	80	80					044	
	...	70000	20000	20000	7000	7000			1000	7000		60600	
干	...		40	20	25	12	11		15	20	10	14	226
	...				30	12	25			10	14		141
塩	...			10									10
干	...												54
干	...						60			4			70
塩	...												00
干	...	1617				60			110	90			1294
生	椰子	175				225	1014		26				1740
南	瓜	37600	145000	72000	10000	17200	7000	50000		12000			239000
干	...	12											12
干	...	50000				1500	24000			6000			60250
干	...												1
干	...												1
干	...												900
干	...												9000
干	...												1
干	...												0

2165

五計長

下博 七月分原稿

會計 經理 部

命令達註ニ報告ノ大要

特記事項十ニ

(一) 経費出納ノ状況

当方面ノ状況上之カ出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

(二) 物品受拂ノ状況

(三) 被服

在庫枯渴ニ機能停止ノ状態ニ在リ

(七月分)

糧食

(1) 本月中当島所収各隊 糧食結算量左ノ如シ

前月十五ヨリ 主食米麥一五〇丸 副食一割八分以内ヲ支給

(2) 2703し一割ヲ米麥一〇丸ニ換算供食)ノ処

二日ヨリ主食米麥七〇丸ニ増額シ九日ヲ被隊ニ依リ大祭ニ變換後

爲 十日ヨリ主食米麥一五〇丸減額ス

離島物攻入手減少セルニ依リ

(2) 主産高 (七月一日・十五日現在)

主食品 十一百五分・十一百八 副食品 六百五分・五七五分

(註) 離島糧食開祭隊ニハ不給

海

軍

(3) 本月中空襲ニ依ル被害ナシ

(1) 需品

在庫枯渇シ機能停止ノ状態ニ在リ

(四) 糧食現地自給量

(1) 糧食開採隊ニ依ル本月中甚高ニ別表ノ通

(2) 換揚程及糧食細付点数制

(十九年九月分本欄参照)ニ基調トスル

自給量左ノ通

生魚肉

食料及食用雜草

(莫トシテモシテ)

19

海

軍

(甲) 其他

(一) 六月中旬以降農作及漁撈ノ成績ハ概々テ順振ニシテ糧食事情ハ急遽ニ改善セラレ下りニ於テリ糧食自給率漸次増進セリト云
 得ヘク蒙羞心又州府庶民ハ漸次増進セリト云
 惜ムルニ至レリ

(乙) 其他

本月中ノ糧食給與ノ状況ハ死亡率

七月一日現在	一	二	四	五	名
當島所生總量					
死亡率					三七%
給與糧食額					七五〇一八五〇

海軍

品名	カ-パン	エムル	板	エス	422	9-10	板	短鼻	エ-72	DP-	計
椰子、実	11232	500			1122	1284		5229	280		20247
燃料椰子	400							4000			4400
乾燥椰子						150					150
魚肝油	33000	13500	6000	3000	2200			13350	5000	27000	204500
ハニ、実	2673000				11000			28500			2960000
ハニ、木	72										72
塩、魚肝油	12500							1000	2500		4500
塩	46000	20000	10000	6000		38500	12500	32000			209000
生、毛ニハ			20	10	20	6		20	20	20	116
生、ムルセ				20							20
干、毛ニハ	3	4	10								28
干、ムルセ											5
塩、毛ニハ	7										7
干、実	762	7						25	64		860
有、瓜			16000	74000	76000						186000
乾燥、パン	60000										60000
4、ヤカ											1
椰子、筒	55			75	8						78
干、羊	13500										13500
椰子、豆											250
椰子、豆									10		10
生、椰子	120					198					112
4、ヤ											1

2170

二人員ノ現状

一職員官氏名

(七月一日現在)

職	主	務	官	氏	名	記
區分			少將	鎌田	正一	
司令			大尉	稻葉	重藏	
本副長代理	此係長職務執行衛兵司令		同右	吉田	勝	
分隊長	本分隊長兼第五六分隊長		同右	佐藤	忠久	
内務長兼分隊長代理	中三分隊長		主大尉	平田	好藏	
軍医長			中尉	青木	孝男	
部主計長	本部附 衛兵副司令		曹長	小鷹	徳治	
隊附	司令附兼甲板三官 和一分隊長		大尉	水元	吉之助	
同	隊附長職務執行 副司令職務執行		同右	酒匂	辰生	
同	通信長職務執行					
警	中分隊長(通信科)兼中土官隊長 (倉庫)					

4- 43
 7- 27
 2- 2
 計 72名

續七三續

					備								
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
中七分隊士	士類平射隊射撃指揮官 中四分隊士	中二分隊士	中七分隊士 掌通信長職務執行	中五分隊士 掌砲台長 貝原長職務執行	特殊死射撃指揮官 中五分隊士	指揮通信隊長 中一分隊士	特殊死射撃指揮官 中五分隊士	士類機銃射撃指揮官 中五分隊士	本部隊隊長 中五分隊長	士類砲高角砲台長 中三分隊長	中五分隊長兼中四分隊長	士類預平射砲台長兼士類預平射砲台長 射撃指揮官 中四分隊長	士類預平射砲台長兼士類預平射砲台長 射撃指揮官 中四分隊長
同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	少尉	同右	同右	同右	中尉	同右	同右
白杵政太郎	豊岡重二	安本三秋	笠原元	中野毅信	河島真澄	中川保治	田中藤治郎	大田文次	戸澤廣海	村瀬茂	木田可夫	平井貞三	

注

年

							科					
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
同 右	中 右 右 隊士	同 右	中 右 右 十三分隊士		中 右 右 一分隊士	中 右 右 三分隊士	中 右 右 六分隊士	中 右 右 一分隊士 掌櫃長職務執行	中 右 右 十分隊士	中 右 右 十四分隊士	中 右 右 十三分隊士	中 右 右 七分隊士
同 右	同 右	同 右	中 右 右 隊長	同 右	同 右	同 右	同 右	中 右 右 隊長	同 右	同 右	同 右	同 右
柴田 栄次郎	長澤 正夫	西村 牧緒	長峰 正一	小川 信義	田中 秋太郎	小林 志郎	野坂 隆登	栗野 勇	松永 光男	石野 信	又村 由男	松尾 繁雄
				休 業中								

毎

頁

昭和十一年

			勢					内				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
同	中士分隊長	同	中八分隊長	水警隊長 中八分隊長	同	同	中士分隊長	中八分隊長 車騎隊長	中八分隊長 水警隊長	中八分隊長 水警隊長	中士分隊長	同
同	同	同	同	少尉	同	同	同	同	中尉	大尉	同	同
西郷	平川	江維	堀川	井上	後藤	大岡	寺岡	笠尾	渡部	釜中	原口	大胡
規矩	壽人	勝司	勇吉	勝栄	俊一	正雄	清	金吾	造酒	淡吉	友一	令司
田力												

科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
中十分隊長 兼務主任、兼務執行	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長	兼務長補助官 中十分隊長
同右	主計尉	主計尉	衛少尉	医大尉	医少佐	同右	工曹長	同右	機曹長	同右	同右	兵曹長
石倉才二	江口清	平林和夫	和井政次郎	新井敬喜	赤塚正平	植田則光	高山権吉	菅原末治郎	佐藤五郎	森田初次	有藤春治	長部源次郎

第七三號

一頁

備		警			部 本	部 本	匠			
砲	中二平射	砲	中一平射	砲	中三高角	砲	中一高角	本	部	匠
	九							六〇	分兵科	整備科
								二	工作科	機材科
									匠務科	衛生科
								三	軍務科	其他
	一							六五	計	兵器班
七五機砲	十五機砲								軽機銃	重機銃
									大砲	中砲
										計
										事務

(一) 下士官兵及其他員数 (所属兵器班数)

(七月一日現在)

科						
銃 隊	通信 隊	野 砲 隊	特殊 砲 隊	十三 挺 高 射 機 銃 砲 台	十五 挺 高 射 機 銃 砲 台	十二 挺 平 射 砲 台
一	一九	三	一	三		八
九						
八						
一	二					
		二	一			
一〇	二一	五	一二	三	〇	八
平 挺 機 銃 連 挺 機 銃	丁 以 武 務 部 電 信 機 九 挺 空 軍 四 挺 機	野 砲 隊 步 兵 砲	自 衛 砲 連 射 砲 十五 挺 榴 彈 砲	十三 挺 聯 裝 機 銃 單 裝 機 銃		十二 挺 砲 三

計	ロアー島派遣隊	エーガン島派遣隊	アイリン島派遣隊	ヒゲエヤト島派遣隊	オホト島派遣隊	カバン島派遣隊	特設見張所	基地保管員	主計科	医務科	科務	内務隊
	三〇二	二	一三	三	八	一九	四七	四			一七	三五
	一五一	八	三九					一			五	
	八六		一一		五	四		七			四六	六
	一八		一	一	一	一				一四		
	五九	一	二	一	一	一			五三			
	二四		八		二	一			六			一
	三四〇	一一	一一	五九	一〇	二八	五四	一一	五九	一四	六八	三二
											發電機二	大礮二 火燭針器一 足杖散銃二

海軍

(三) 南洋第一支隊第七中隊員ノ現狀
 (四) 主要職員官氏名

(七月一日現在)

指揮班長	人事係	陸軍大尉	中西 恭夫	
中隊附軍医	衛生係	陸軍中尉	阿部 源太郎	
小隊長代理		陸軍少尉	正岡 和夫	
同 右	陣醫係	曹長	田中 一隆	
小隊長	兵器係	陸軍少尉	大庭 正夫	
中隊長		陸軍大尉	宇津木 保嗣	
職	主務	官氏名	氏名	記

今月中ノ異動 十二

④ 下士官兵員数 (所属兵器数)

衛生部	機關銃小队	中三十隊	中二十隊	中一〇隊	指揮班	區分
五	七	一九	二〇	二〇	一六	人員
小銃	小銃 重機關銃	速射砲 機關銃 擲彈筒 (冷庫リ筒突)	速射砲 小銃 擲彈筒 機關銃 (海軍リ筒突)	小銃 擲彈筒 機關銃	小銃	兵器数
一	五二	一七三五	一九三五	一三五	一四一	並ニ記

⑤ 在庫兵器小銃 四六
今月中ノ異動 十

(四) 海上機動力一旅団 中隊 中隊長 以下 隊員 現狀 (七月一日現在)

(1) 主要職員官氏名

職	主務	官	氏名	註
中隊長		陸軍大尉	佐藤政雄	
小隊長	兵器係	陸軍中尉	松本音三	
同	庶務係	同	小澤篤行	
同	被服物品係	同	熊谷哲雄	
同	警備情報係	陸軍少尉	玉田俊三	
衛生隊長	医務係	陸軍中尉	今村信雄	
指揮班長	人事係	陸軍中尉	比惠島光男	戦傷、肩 下管代理中

今月中、異動

今日中ノ異動

戦死三名

衛生隊	中五七隊	中四七隊	中三〇隊	中二〇隊	中一〇隊	指揮班	區分人
一三	五	一一	二〇	一一	一五	七	員
小銃	歩兵砲 自衛砲	重機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃	兵器数註ニ記事
一一	一一	一一	一四四	七四四	八四四	四	

(四) 下士官兵員数 (折属兵器註ニ数)

部隊名	區分	在島岩部隊員	現狀	備考
第四海軍施設部	一	二六三	二六五	
第二〇二海軍航空隊	一	七一	七四	
第四海軍司令部	一	八	七	
第二〇二海軍航空隊	一	二	二	
計		三四八	三五二	
計		二	一六	

(七月一日現在)

今月中ノ戦死者

計

二人員ノ現狀		職		主務		官氏		名		記	
一職員官氏名											
六月一日現在											
區分	職	主	務	官	氏	名	記				
本	司令	砲術長職務執行 衛兵司令		少將	鎌田	正一					
	副長代理	砲術長兼才五六分隊長		大尉	稻葉	重藏					
	分隊長	才五六分隊長		同右	吉田	勝					
	内務長兼 分隊長代理			監少佐	佐藤	忠久					
	軍医長			大尉	平田	好藏					
部	主任長			中尉	青木	孝男					
隊	附	本部附 衛兵副司令		監長	小鷹	穂怡					
同	右	司令附兼甲板士官 才一分隊長									
同	右	砲術長職務執行		少佐	水元	吉之助					
同	右	副司令職務執行		大尉	酒匂	辰生					
		通信長職務執行									
		才七分隊長兼才五六分隊長									

分 42
 右 29
 隊 2
 73

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
中尉 白杵政太郎	中尉 安本三秋	中尉 笠原元	中尉 中野毅信	中尉 河島真澄	少尉 中川保恒	中尉 松尾繁雄	中尉 田中藤治郎	中尉 大田文次	中尉 戸澤廣海	中尉 村瀬茂	中尉 木田可夫	中尉 平井貞三
中十四分隊士	中二分隊士	中七分隊士 中隊通信長職務執行	中一分隊士 中隊通信長職務執行	中五分隊士 中隊通信長職務執行	中一分隊士 指揮通信隊長	中五分隊士 特殊砲射撃指揮官	中五分隊士 特殊砲射撃指揮官	中五分隊士 主任機銃射撃指揮官	中二分隊士 本隊隊長	中三分隊長 主任機銃射撃台長	中三分隊長兼中四分隊長	中十五分隊長兼中十五分隊射撃指揮官 中四分隊長

海軍

		科									備	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
右七分隊士		右一分隊士	右三分隊士	右六分隊士	右一分隊士 掌砲長職務執行	同 右	右十四分隊士	同 右	右十三分隊士	右十一分隊士	右十四分隊士	右五分隊士
同右	同右	同右	同右	同右	兵曹長	同右	同右	同右	同右	同右	同右	少尉
吉田吉雲	小川愷義	田中秋太郎	小林志郎	野坂隆登	西米野高勇	大胡令司	長澤正夫	西村牧緒	長峰正一	松永光男	石野裕	又村由田
	休業中											

		勢					内				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
同	才八分隊士	水警隊附 才八分隊士	同 右	同 右	同 右	才三 分隊士	水警隊長 才八分隊士	水警隊長 才八分隊士	才八分隊長	同 右	才三 分隊士
同右	同右	少尉	同右	同右	同右	同右	同右	中尉	大尉	同右	警長
江 縫 勝 司	堀 川 勇 吉	井 上 勝 栄	西 郷 規 矩 男	平 川 壽 人	後 藤 俊 一	大 岡 正 雄	笠 原 金 吾	渡 部 造 酒 弥	釜 中 清 吉	金 子 四 郎	原 口 友 一

海
軍

	主		科務	医					科			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
庶務主任 掌櫃親長職務執行	主計長補助官	中十分隊長	掌櫃親長 職務執行 中九分隊士	甲隊長補助官	中九分隊長	同	同	中八分隊士	同	水警隊附 三ツパン見長指撥官 中八分隊士	同	中十二分隊士
主計	同右	主計	衛少尉	医大尉	医少佐	番長	同右	警長	同右	警長	同右	同右
石倉才二	江口清	市林和夫	和井政次郎	新井敬喜	赤塚正平	高山捨吉	菅原末治郎	佐藤五郎	有藤育治	長部源次郎	植田則光	森田初次

事

宣

(3)

隊遣旅島離										科	計		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	
カベ島派遣隊附 中隊長	ヒゲエヤト島派遣隊長	オースト島派遣隊長	アイリン島派遣隊附 中隊長	アノ島派遣隊長	カゴ島派遣隊長	カネ島派遣隊長	アイリン島派遣隊長	カゴ島派遣隊長	カネ島派遣隊長	同	立竹長補助官 水十分隊士	掌衣糧長職務執行	立竹長補助官 水十分隊士
同右	同右	少尉	同右	少尉	同右	中尉	同右	同右	同右	同右	中尉	同右	少尉
坂井源二	川畑安男	河口重次郎	熊谷長力	免澤慶治	宮腰茂	今澤正和	松田儀一	赤嶺正夫	間島亮治	柴田勝比古	佐藤東七	川崎進	

海軍

備		警			本 部 五 八	區 分 官 科 監 備 科 工 作 科 機 關 科 及 醫 務 科 主 計 科 其 他
砲 台	砲 台	砲 台	砲 台	砲 台		
七			一			
					二	
二						
					三	
九	。	。	一	。	六 三	計
						兵 器 監 記 事

(一) 下士官及其他員數

(二) 新兵器監記事數

(三) 八日現在

T

銃 隊	通信 隊	野 砲 隊	特 殊 砲 隊	機 銃 砲 台 三 挺 高 射	機 銃 砲 台 三 挺 高 射	砲 台 十二 挺 高 射
一	一九	三	二	三四		八
九一						
一	二					
		二	一			
九三	二一	五	一二	三四	〇	八

海軍	計	三九五	一四四	七九	一八	五九	二三	六一八													
	内水警隊	三五																			
	科 其他	五																			
	醫務科				一四																
	主計科					五三															
	基地保管員	四	一	七																	
	特設見張所																				
	カドシ島派遣隊	四七		四	一	一	一	一	五四												
オウシ島派遣隊	一八		五	一	一	一	一	二六													
ヒコヤシ島派遣隊	八				一	一		一〇													
アイソク島派遣隊	三	三九	二	一	二	二	五	五													
エニフシ島派遣隊	一三						八	二													
ウシ島派遣隊	二	八			一	一	一	一													

昭和十六年三月

(三) 南洋支隊才中隊員、現狀
 小月〇現在
 主要職員官氏名

今月中ノ異動 ナシ

指揮班長	中隊附軍医	小隊長代現	同 左	中隊長	中隊長	職	主務	官氏名	官 氏 名	託 事
人事係	衛生係		陣営係	兵器係				陸軍中尉 阿部源太郎	陸軍中尉 中西泰夫	陸軍中尉 阿部源太郎 平〇 任大尉
准尉 宇津木保嗣	陸軍中尉 大庭正夫	曹長 田中一院	陸軍少尉 正岡和夫	陸軍中尉 阿部源太郎	陸軍中尉 中西泰夫			陸軍中尉 阿部源太郎	陸軍中尉 中西泰夫	

(四) 下士官兵員数 (所属兵器数ニ数)

衛生部	機関銃小隊	才三小隊	才二小隊	才一小隊	指揮班	五分	兵員数	兵器数
小銃	小銃 重機関銃	速射砲 小銃 機関銃 (海軍ヨリ寄與)	速射砲 機関銃 (海軍ヨリ寄與)	速射砲 機関銃 (海軍ヨリ寄與)	小銃 機関銃	小銃 機関銃	小銃 機関銃	小銃 機関銃

指揮班長	衛生隊長	同 右	同 右	同 右	小隊長	中隊長	職
人事係	區務係	警備情報係	制服物品係	庶務係	兵器係		主務
准尉	陸軍中尉	陸軍少尉	同 右	同 右	陸軍中尉	陸軍大尉	官
比惠島夫男	今村信雄	玉田俊三	熊谷哲雄	小澤篤行	松本音三	佐藤政雄	氏名
戦傷、爲 下士官代理中							記

(四) 主要職員官氏名
海上機動第一班(三) 第一隊中隊長、現狀
八月一日現在

今月中ノ異動

衛生隊	第五小队	第四小队	第三小队	第二小队	第一小队	指揮班	正 分 人 員
小銃	歩兵銃 自動砲	重機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃 擲彈筒 輕機関銃	小銃	兵器数誌ニ記事

(四) 下士官兵員数 (所属兵器数)

(四) 統一指揮下に在る其他在島各部隊員ノ現状 (八月一日現在)

部隊名	区分	整頓以上	下管兵	軍属	計	合月中ノ戰死者	記
中四海軍施設部		一	一	二四九	二五一		
中四海軍航空隊		一	二	六九	七二	四	
中四海軍飛行場							
中四海軍司令部			一	六	七	一	
中四海軍派遣所							
横須賀海軍工廠派遣員				二	二		
郵便所				四	四		
計		二	四	三三〇	三三六	一	

(海軍)

海軍

主計長

會計總理ノ部

一 今達之報告ノ大要

特記事項ナシ

二 経費出納ノ状況

當方面ノ状況上之が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

三 物品受拂ノ状況

四 被服

在庫枯渴ニ機能停止ノ状態ニ在リ

編六五

(三三二)

海軍

四 糧食

(1) 前月十日ヨリ主食米帯 五〇瓦 (二) アラビヤ一個ヲ米帯一〇〇瓦ニ
換算供食) 副食一割八分以内支給中ト

(2) 在庫高 (八月一日、十五日現在)

主食 九六〇分、 五〇日分 副食 五〇日分、 四七〇分

(3) 離島糧食開辦隊ニハ不給

(3) 本月中空襲ニ依ル被雷十シ

第七二號

海軍

(1) 需品

在津枯渴の機能停止ノ状態ニ在リ。

(四) 糧食現地自給量

山糧食開採隊ニ係ル自
至八月止ノ間蒐集高ハ別表ノ通

(四) 漁撈班及糧食配付点数制 (十九軍九月分本欄参照) 7

基調トスル自給量左ノ通

生魚肉

六七三觔

瓜類及食用雑草 (蔓豆トソノ豆トモソハ等) 六一九〇觔

海軍

陸軍部

昭和二十三年八月一日 至 八月十五日 間 離島物資蒐集成績表

品名	種別	箱	カービン	ニルカ	林	2杯	42	4-10	ホロ	20	711-79	I=70	7P	計
椰子	1	實	個	8.47	1.650		1,000	P30			2,076			14,107
三乾		實	箱	16,000							54-			70-
10	1	實	個	1.47P	22-						41-			82-
塩		實	斤	47				62			7P			1,558
タニ	1	實	斤	140P	P7		200	40	25		30			1,801
生椰子		實	個								135			135
生椰子		實	斤	4										4
椰子		實	本								5			5
椰子		實	箱	120-	3-									136-
乾椰子		實	箱					28-						28-
塩		實	斤								8,900			8,900

2203

101

五 医務衛生ノ部

(一) 医科員ノ異動

本月初旬本隊附屬陸丸乗組海軍衛生兵長坂本礼志「マニラ」諸島「プライン」島ニ於テ戦死セルモノト推定サル

(二) 天候ノ概況並ニ氣象ノ發生的影響

前月ニ同ジ

一ヶ月間ノ最大最小気圧在記ノ如シ

正午最大	七六・五・〇	一ヶ月間最大	三二・〇	正午最大	二九・九・%
正午最小	七六一・〇	正午最大	三二・九	正午最大	二五・四・%
正午平均	七六三・〇	正午平均	二九・四	正午平均	二七・六・%

(三) 月日所在在艦務行動ノ概要

本隊は前月ニ引続キ南洋「マニラ」諸島「マニラ」島「プライン」島「プライン」島ニ在リ

四五三

前日引落大敵機来撃頭部撃墜し連日敵機を撃退し、砲撃し、空を
之ト交戦し撃墜す

二月中ノ未詳機撃墜三機死傷者左記、如シ

大型機 三機

戦死

戦傷死

重傷

軽傷

合計

中型機 六機 計 三三機

一

一

四

二

小型機 三六機

(四) 出征中ノ被傷品被服糧食飲料此其他ノ生ニ關係アル物品ノ備蓄事項並ニ搭載

補給ノ概要

一月末以來ノ短砲射撃及爆撃作リ森密カ分散格闘中ノ治療品多量亡失又

本月ノ陸軍側ニ対シ治療品若干ヲ補給ス

(五) 省畧

(六) 出征中ノ生体状況

先月末敵大機動部隊来襲以來戦傷患者増シ及ニ平癒患者ノ需

清田 録

[Handwritten mark]

<p>診 志 者 著 シ ヲ 概 ス</p>	<p>(四) 省 署</p>	<p>(三) 省 署</p>	<p>(二) 防 疫 傷 疾 防 止 其 他 保 健 關 係 事 項</p>	<p>砲 擊 爆 撃 等 傷 亡 例 破 壞 せ ら れ 多 ク 防 疫 上 憂 慮 ス ベ キ 付 之 が 消 毒 等 ニ ハ 在 ヲ 期 シ タリ</p>	<p>(一) 省 署</p>	<p>(一) 省 署</p>	<p>(一) 医 ハ ヲ 生 ニ 關 スル 全 運 報 告 大 要</p>	<p>二 月 五 日 ノ 空 輸 便 ニ 于 テ 方 四 隊 隊 員 長 死 衛 生 状 況 ヲ 報 告 セリ</p>	<p>(一) 省 署</p>	<p>(一) 省 署</p>	<p>(一) 省 署</p>
------------------------	----------------	----------------	--	---	----------------	----------------	---------------------------------------	---	----------------	----------------	----------------

(海七三號)

2207

<p>二 五 二九七 東北東八</p>	<p>晴 東北東六 三一五 五</p>	<p>〇三五五 〇四一八 〇七〇八 〇七二七 〇九二〇 〇九三四 SB2C 三機周也哨戒 二〇度↓三四度 三機周也哨戒 （標準投下）</p>	<p>〇九五二 一〇〇八 SB2C 二機周也哨戒 一〇度↓三〇度 （カノ島小島ニ標準投下）</p>
<p>日 視集 界</p>	<p>天候 集雲 力候</p>	<p>一 般 任務別特</p>	<p>記 事</p>
<p>（正午）</p>		<p>任務別特</p>	<p>經過概要</p>

自昭和三年七月
至同 年七月
第一卷三警備隊戰時日誌
昭和三年七月
第六十三警備

六	五	四	三
東 陸月 三〇 一〇 七〇	東 陸月 三〇 一〇 五〇	一 陸月 二七 一五	東北東 陸月 三〇 一〇 五〇

<p>〇八五〇 〇九〇〇 SB2C 二機同也哨戒 二〇〇度 ↓ 三三〇度</p>	<p>一〇五五 一一〇〇 SB2C 二機同也哨戒 機橋附近銃爆雲 三〇〇度 ↓ 一九〇度</p>	<p>一〇〇五 一〇一〇 SB2C 二機同也哨戒 二〇〇度 ↓ 三〇〇度</p> <p>〇八一五 〇八一〇 〇八一〇 〇八一九 右 同 三四〇度 ↓ 一九〇度</p>	<p>〇四三六 〇四三四 〇四三二 〇四三〇 右機北上 一機 SB2C 二機同也哨戒 一八〇度 ↓ 三三〇度</p> <p>〇八三三 〇九〇七 SB2C 二機同也哨戒 機橋附近銃爆雲 二〇〇度 ↓ 二〇〇度</p>
--	--	---	---

九	八	七
二九五 二九五 二九五	五九八 東九 靖七	一〇六 三八五 東六 曇六

<p>〇七四〇 〇七四〇 〇七四八</p> <p>SB2C 二機周也哨戒 二九〇度 ↓ 二〇〇度</p>	<p>〇六〇二 〇六〇九 〇六五五 〇七四五</p> <p>SB2C 二機周也哨戒 二五〇度 ↓ 三一〇度</p> <p>七機 PBM 一機之ヲ護衛來襲 害也</p> <p>榎橋附近 銀爆裏 (口下彈併用) 一八〇度 ↓ 一六〇度</p>	<p>〇八〇九 〇八一九</p> <p>SB2C 二機周也哨戒 二〇〇度 ↓ 三二〇度</p>	<p>二〇一三 二〇一八</p> <p>七型機ラキ南下爆音聞 二〇〇度 ↓ 三一〇度</p> <p>SB2C 二機周也哨戒 榎橋附近 銀爆裏 二〇〇度 ↓ 三一〇度</p>
	<p>大霧 二隻炊坂</p>		

<p>一 三 二 三 三</p> <p>東 曇 三</p>	<p>一 二 三 五</p> <p>快 晴 東北 東七</p>	<p>一 一 三 五</p> <p>東 晴 七</p>	<p>一 二 二 二</p> <p>東 曇 九</p>
---	---	---	---

<p>〇九四 〇九五</p> <p>右</p> <p>二二〇度 ↓ 二一〇度</p>	<p>〇八一 〇八三</p> <p>SB2C</p> <p>二機周回哨戒</p> <p>一九〇度 ↓ 二九〇度</p>	<p>一〇三 一〇四 一〇六</p> <p>SB2C</p> <p>二機周回哨戒</p> <p>二三〇度 ↓ 三一〇度</p>	<p>〇八〇 〇八二 〇八四 〇八五</p> <p>右</p> <p>二二〇度 ↓ 二〇〇度</p>	<p>〇八三 〇八四 〇八五</p> <p>SB2C</p> <p>二機周回哨戒</p> <p>一八〇度 ↓ 三〇〇度</p>	<p>〇〇九 〇〇三 〇〇三</p> <p>中型ラジカル上標音聞ク</p> <p>SB2C</p> <p>二機周回哨戒</p> <p>二〇〇度 ↓ 三〇〇度</p>
--	---	---	--	---	--

一七	一六	一五	一四
二 二八 〇	二 二八 〇	五 三 〇	五 二九 〇
東 雲 八 五	東 雲 北 東 八 五	東 雲 北 東 八 五	東 雲 北 東 八 五

<p>〇〇二一 〇〇〇四 〇〇八一 〇〇八一 〇八三五</p> <p>西航爆立日聞 SB2C 二機周也哨戒 正オニビ4島航爆雲 一九〇度 ↓ 三〇〇度</p>	<p>〇九五二 〇九五二 〇九五二</p> <p>右 同 二二〇度 ↓ 三〇〇度</p>	<p>〇七三〇 〇七三〇 〇七三〇 〇七三〇 〇七三〇</p> <p>SB2C 二機周也哨戒 (機雲投下) 一九〇度 ↓ 二九〇度</p>	<p>〇七三一 〇七三一 〇七三一 〇七三一</p> <p>SB2C 二機周也哨戒 二一〇度 ↓ 三一〇度</p>
---	--	---	---

二二	一一	二〇	一九	一八
五〇 二九 快晴	五〇 三〇 東北東六 快晴	五〇 二九 東三 快晴	二〇 一〇 東北東二 快晴	二〇 二九 東北 快晴

<p>〇八二四 〇八三一 B24 二機 西航</p> <p>〇九一五 〇九三七 SB2C 二機 同四哨戒 (傳單投下) 二八〇度 ↓ 三二〇度</p> <p>〇八五七 〇九〇七 SB2C 二機 同四哨戒 (飲露) 一九〇度 ↓ 二九〇度</p> <p>一一〇二 一一〇三 右 同 三二〇度 ↓ 二八〇度</p>	<p>〇七三八 〇七四五 SB2C 二機 同四哨戒 一九〇度 ↓ 二七〇度</p> <p>一三五四 一三五八 中型輸送機 一南下</p>	<p>敵影ヲ認ハス</p>	<p>〇八二七 〇八四〇 SB2C 二機 同四哨戒 三〇〇度 ↓ 三一〇度 (離島及本島ニ對シ傳單投下)</p>
---	--	---------------	--

二六	二五	二四	二三
五 三〇 〇	五 二九 三〇	二 二八 〇	五 二九 〇
東 駐月 〇 〇 四	東 駐月 二 二 二	南南西 駐月 二 二 二	東 駐月 三 三 三

<p>〇九三七 〇九五五</p> <p>VB2C ニ機周回哨戒 カブレ及アイランド 島航路</p> <p>一七〇度 一七〇度</p>	<p>〇九三七 〇九四七 〇九〇九</p> <p>SB2C ニ機周回哨戒(カブレ島航路) 二〇〇度 ニ〇〇度</p> <p>〇九三〇 〇九三〇</p> <p>カブレ島航路 カブレ島航路</p> <p>一三〇度 一三〇度</p> <p>大型一機航路</p>	<p>〇九四四 〇九五五</p> <p>SB2C ニ機周回哨戒(標準航路) 一八〇度 一八〇度</p> <p>一三〇度 一三〇度</p> <p>カブレ島航路 カブレ島航路</p>
<p>一三〇度</p>	<p>一三〇度</p>	<p>一三〇度</p>

正ア隊員拉致サレ

二九	二一	二七
二〇 二七 一八 二〇 二 二 二	二〇 二九 五 〇 〇 〇 〇	五 〇 五 〇 五 〇 〇

〇八三〇 駆逐艦一隻かべと島砲臺 一一三〇 哨戒艇 (4エー) 島のニ降勸告放送	一四四〇 右 同 一〇四五 右 同 一一四七 大型輸送機一機 〇七〇六 右 同 〇三〇八 同 〇四四六 SBC 二機周回哨戒 〇四四五 一八〇度 ↓ 三三〇度 〇〇一〇 大型機一機 東航爆音聞 〇〇一三	〇五五四 大型一機 東航 〇六二四 SBC 二機周回哨戒 (アイランド) 島爆音 〇六三九 哨戒艇 封鎖島 降勸告放送
---	---	--

三 一	三 〇
北東四 時月 五 二九 〇	東三 時月 五 二九 〇

<p>〇七〇五 SB2C 二機 アイロウク島爆薬</p>	<p>〇三四四 〇三三五 SB2C 二機 岡田 時戒</p> <p>〇四五五 〇六三一 及 一三四三 一三一二 一田 三カシ 本島</p> <p>被害軽微</p>
<p>〇七〇五 SB2C 二機 アイロウク島爆薬</p>	<p>合計八機 (F4U 一機、SB2C 五機、B-25 一機、PBM 一機)</p> <p>主カヲ以テ本島、一部離島爆薬</p> <p>ロケット弾、時限弾、焼夷弾等各種使用</p>

海軍		陸軍		海軍		陸軍		海軍		陸軍		海軍		陸軍	
九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃	九〇式小銃	八五式小銃
三三〇	二二〇	三三〇	二二〇	三三〇	二二〇	三三〇	二二〇	三三〇	二二〇	三三〇	二二〇	三三〇	二二〇	三三〇	二二〇
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
(二) 兵器															
陸軍科ノ部															
(一) 主要兵器ノ故障故損亡失															
四重															

三七八分

戦時日記
一機 關部

自七月一日
至七月三十一日

月日	項目	作業時	状態	作業員	作業時数	作業進否
自七月一日 至七月三十一日	各機修繕 廻転子 固定子線輪	前月より波爆箇所修理復旧作業 進行中		一〇〇	三〇〇	80%
自七月三十一日 至七月三十一日	被爆機修理 機中系修理 ハンパ切替 機中切替			六	一八	完備
七月三日	一號貨物 自動中	救熱器漏洩、急修以及び止機輪関係 各部分解手入施行		二	六	
七月七日	二號貨物 自動中	機各部調整及び掃除手入施行		二	八	
七月十五日	七號貨物 自動中	救熱器漏洩、急修付修理施行		二	六	
七月二十日	號東用車	機各部調整及び掃除手入施行		二	六	
七月三十一日	四一四三號 大砲	機銃調整、機銃弾二箇、一系目リ 二系中、急修明施行		五	一〇	
七月九日	四一四三號 大砲	機銃調整、機銃弾二箇、一系目リ 二系中、急修明施行		五	一〇	

2219

										自七月五日 至七月九日	四一四三號 大發艇	前記、爲此設中、処引湯、機械、總令 解検査施行中	二	四		
										自七月十三日 至七月十五日	カッター	二張大発、機械、取付、爲各卸平一办 機械台取付、作業施行中	三	八		
										自七月三日					50/100	
										至七月三日					50/100	

昭和二十年七月戰時日誌

醫務科員異動

ナシ

二 天候概要並ニ氣象、衛生的影響

前月ニ比シ降雨多ク一般ニ氣温上昇ニモ微風及ビヌール

アリテ凌ギ易シ本月ニ入りテ蚊、發生多シ

三 月日所在及任務行動概要

前月ニ同シ

四 出征中ニ於テ治療品被服糧食飲料水其他衛生ニ關係スル物品

ニ關スル事項並ニ搭載補給概要

給與糧食、今月又被爆依テ大發運航不能、又減少セリ

五 醫務科治療施設新設改造概要

特記スベキモノナシ

六、出征中、衛生狀況（受瘡患者、伝染病、流行病、及発傷病）

受診患者、大約現在員、七〇乃至八〇ノナリ、死者亦減少セルニ

下旬ヨリ再ニ増加、傾向ヲ示セリ

七、被服防寒防熱換氣入浴等、衛生ニ關ル事項

特記スルキモノナシ

八、寄泊地、金營地、占領地、衛生概要

省略

九、防疫傷病防止、其他保健ニ關ル事項

特記スルキモノナシ

〇、衛生ニ關ル諸検査、概要

省略

一、醫務衛生ニ關ルハ各達報告、大要

ナシ

一 兵員労働慰安班ニ休養等ノ概要

省略

三 教育訓練ニ関スル事項

特記スベキモノナシ

一 作戰經過概要

自昭和二十年八月一日
至同日八月五日

第六三警備隊戰時日誌

日	一	二	三	四
集象 天候 雲力 高風 真區 正視 午界	五月 三〇 三〇 一〇	五月 三〇 三〇 一〇	五月 三〇 三〇 一〇	五月 三〇 三〇 一〇
一般 務性 別特				
經過概要 要 記 事	〇七〇 〇七〇 〇七八 SB2C ニ機周也哨戒 ニ〇〇度↓ニ九〇度	敵影ヲ見ズ 〇八〇 〇八〇 〇八五 SB2C ニ機周也哨戒(僚機共下) 一八〇度↓三〇〇度	〇六五 〇六五 〇六五 SB2C ニ機周也哨戒 三〇〇度↓二九〇度	〇七五 〇七五 〇八三 〇八三 SB2C 九機周也哨戒 一七〇度↓一七〇度 普退 一五〇度↓一七〇度 SB2C 三機周也搜索

2224

八	七	六	五
<p>五 二八 東 陸 三 月 四</p>	<p>二 二八 東 陸 三 月 一</p>	<p>五 二九 東北東 四 陸 月</p>	<p>五 三〇 東 陸 三 月</p>

<p>一〇二五 一〇二七 SB2L ニ機周也哨戒 (離島録事) 三〇〇度 ↓ 一八〇度</p>	<p>〇三五一 〇五四九 SB2L ニ機周也哨戒 (離島録事) 一八〇度 ↓ 三〇〇度</p>	<p>敵影ヲ見ズ</p>	<p>一〇九三五 〇九五〇 SB2L ニ機周也哨戒 一八〇度 ↓ 三〇〇度</p> <p>一一一三 一一一九 右 三二〇度 ↓ 二〇〇度 同</p> <p>一一〇〇 一二五〇 SB2L 六、F4U PBM 一之ヲ隠す アイソク島の來襲 二〇〇度 ↓ 一八〇度</p>
---	---	--------------	---

二	一	九
二 二 一 〇 五 六	三 二 九 〇 六 六	五 二 八 〇 五 六
東 濠	東 晴	東 晴

<p>〇五五六 〇七〇〇 SB2C 二機周回哨戒 一九〇度→三三〇度</p>	<p>〇九五五 大型一機 東航 一四一〇 右 一五三五 右 同 同</p>	<p>〇八四三 〇八一〇 〇六四五 〇六四一 〇八四三 右 三三〇度→一八〇度 同 四五 右 島 録表</p>	<p>〇五〇六 〇五一〇 SB2C 二機周回哨戒 一三〇度→一五〇度 〇六五五 SB2C 二機 アイソラック島上空通過 二七〇→一五〇度 一四〇〇 大型一機 東航 一四五五 右 同</p>
--	---	---	--

一五	一四	一三	一二
北東三 三〇〇 三〇〇	快晴 南東三 三〇〇 三〇〇	曇 東北東 二八五 二八五	曇 南東 二八〇 二八〇

<p>一〇四九 一〇九〇 SB2C 二機周辺哨戒 三三五度 ↓ 一八〇度</p>	<p>〇九二〇 〇九三七 SB2C 二機周辺哨戒 ハ〇度 ↓ 三〇〇度 パイロット島銃爆雲</p>	<p>〇五三六 〇五三八 大型輸送機一北上 〇五三八哨戒機ハ〇島ニ對シ攻撃 勸告放送</p>	<p>〇四三九 〇四四五 SB2C 二機周辺哨戒 一八〇度 ↓ 一九〇度 パイロット島銃爆雲</p>
--	---	--	--

(二) 兵器

砲術科ノ部

(イ) 主要兵器故障缺損亡失

兵器 名 精 况 原 因 處 置

九六式三寸五粒機銃
看発信管二型

二回。爆 碎

(ロ) 主要兵器改造修理新設

特記事項ナシ

(ハ) 主要兵器ノ消耗及ビ補給

特記事項ナシ

二六八二五号

昭和十一年

海 軍

機		關		之		部		戰時及戰後日誌		六月分	
月	日	項目	作業	時	狀	能	心	作業員	作業時數	作業	進交
八	四	三砲台用 發電機	敵銃場 修理	二	依リ	各電機	機二番	四	一二	完	備
八	五	三號大艇	先月ニ引統 一總令解	一	復	用試運	航、結果	一五	三〇	〃	〃
八	六	老號乘用車	機関各部 調整並ニ注	二	掃	屑手入	施行	二	四	〃	〃
八	九	老號貨物 自動車	エンジン修理 調整	四	五	分	調整	一	一	〃	〃
八	一三	老號貨物 自動車	放水器漏水 修理	三	八	分	修理	一	八	〃	〃
以下		戰後日誌									

自昭和二十年八月一日

戰事日誌

至昭和二十年八月十五日

一、醫務科員ノ異動

丁之

二、天候ノ概要並ニ氣象ノ衛生的影響

前月ニ比シテ降雨多ク一般ニ氣象ノ上昇アルモ微風及「スコール」アリ

テ凌ギ易シ

三、月日所在及任務行動ノ概要

前月ニ同シ

四、本征中ニ於テル治療品被服糧食飲料水其位衛生ニ關スル事項並ニ

塔載補給ノ概要

給糧糧食ハ今月又積曝ニ依ルテ發達不能ノタメ減サセリ

五、醫務科治療施設新設改造ノ概要

圖七三級

海軍

時記事項了之

六 出征中ノ衛生狀況(疫癘患者傳染病流行病多發傷病)

前月ノ同シ

七 被服防寒防熱換氣ノ浴等衛生ニ關スル事項

時記事項了之

八 各地金榮地 占領地ノ衛生狀況

省略

九 防疫傷病防止甚ニ位保健ニ關スル事項

時記事項了之

一〇 衛生ニ關スル諸検査ノ概要

省略

一一 醫務衛生ニ關スル令達報告ノ概要

海軍

三三三

